

館山市公共下水道事業公営企業会計システム導入等業務委託 公募型プロポーザルに関する質問及び回答

平成 30 年 5 月 25 日現在

No.	質問内容	回答内容
1	<p>申請期間について（公告 3（1）申請期間） ・公告の申請期間と実施要項第 3④の提出期間と異なりますが、6 月 1 日までの提出で良いでしょうか。</p>	<p>実施要項 3 ページ第 3④のとおり、平成 30 年 6 月 1 日（金）まで応募意思表明書及び提案書を受け付けます。 なお、公告の訂正は、準備が整い次第お知らせする予定です。</p>
2	<p>機能内容について （要求機能要件書、固定資産、No.175 及び No.176） ・工事情報の固定資產業務への反映について、想定されている運用をご教授いただけますでしょうか。（反映項目、反映時の仕様等） また、No.176 に記載の工事情報からの間接費の自動按分について、按分方法を併せてご教授いただけますようお願いいたします。</p>	<p>工事情報の固定資產業務への反映に関しましては、平成 29 年度に実施した固定資産調査・評価業務で得られた工事台帳データを導入システムへ入力することと、その後（平成 29 年度分以後）の工事情報のデータ入力をお願いするものです。なお本市では、標準手法による固定資産調査・評価を行っており、既存の他のシステムとの連携・統合は想定していません。 また、間接費の按分方法に関しましては、当該契約締結後に固定資産調査・評価業務を含む移行支援委託事業者との打合せを予定していますので、その際に詳細な確認をお願いいたします。</p>

3	<p>予算管理業務における弾力条項について (業務委託仕様書、第2章(基本機能)第27条(1))</p> <p>・弾力条項につきましては、あまり実施されている事例がないことから現在の機能に有しておりません。現状に置きまして、お客様でご運用される想定はございますか。</p> <p>また、弾力条項が発生した場合、管理機能はございませんが、一時的に予算残額のチェック制御を外すことにより、予算額を超えても起票できる仕組みをご用意しております。弊社の想定している運用で、ご提案させていただいてもよろしいでしょうか。</p>	<p>弾力条項について、現状においては、具体的な運用の想定はありませんが、緊急やむを得ない対応が生じた時においても、正常にシステムが稼働し、会計処理されることが必要です。</p> <p>なお、お示しいただきました代替案の提案に関しましては、付与された権限の範囲内でチェック制御を外すのであれば差し支えありません。</p>
4	<p>図面及び属性データによる検索について (業務委託仕様書、第2章(作業項目)第29条2の(6))</p> <p>「検索は、図面及び属性データのいずれか又はその組み合わせからでも可能とすること」とございますが、図面及び属性データとは具体的にどのようなデータになりますでしょうか。</p>	<p>画像及びそれに附属するデータで、固定資産等の管理を想定したものです。ただし、画像はデータ量が重くなると考えられますので、「いずれか」と表記しましたとおり、主に属性データによる検索が可能であれば差し支えありません。</p>
5	<p>工事の情報について (要求機能要件書、固定資産、No.175)</p> <p>「工事の情報を固定資産業務へ反映できること。」とございますが、工事の情報とはどのような情報の管理を想定しておりますでしょうか。</p>	<p>工事情報の固定資産業務への反映に関しましては、No.2でお答えしたとおりです。</p> <p>工事情報の項目につきましては、年度、予算(勘定)科目、工事番号、関連工事番号、補助・単独の別、工事名、所在地、工期、台帳契約額(税込)、最終契約額(同)、工事価額(税抜)、間接費(同)、取得価額(同)、財源内訳です。</p>